

軽井沢友愛山荘に同志結集

第16回 全国大会開催

[illegible]

動町針、子孫にいて、部件作
田代和子、小夜部、いて、事
に、金、致を能。君、分科料
は、食費の新設、君（那、
部、いて、金、致の、肩、
レ、バ、問題、油、潤、
領十間、理、監、安、保、
新聞編集長、友愛会、の、
二、新、代、食、費、山、庄、お
金、田、大、金、金、聞、志、持、日、
友、愛、精、神、を、金、食、費、
を、通、て、費、が、社、会、
の、ネ、ル、千、を、お、
い、義、助、志、が、再、び、の、
の、食、庄、往、相、い、
共、感、の、多、
今日、の、社、会、を、見、聞、
と、云、我、友、愛、感、せ、る、
愛、年、間、が、青、年、助、
も、書、を、て、友、愛、
を、

[illegible]

大会宣言

[illegible]

されまゝ定めて、
 前し
 なれ
 去四月日①の生誕
 なり、本部事務に第十回
 幹事会開催。た
 議は、互平常幹事努
 勵に、②中大開会
 組の③事務職
 へ派遣しければなら
 ない。我は、相草菰、相通解
 の指導を要し、友發智と生
 活の指導を要し、ではない。偏
 同志は、この黨精神の統一を
 相の爲に努め、若の態を
 となは熱帯世界の平和と福

第十大回に愛育同志會大会へ

より痛めたり、承認されたり
なり。金持の妻は市井を
昭和十四年度事業計画
て西本理事長は提議精明
本年度は「大衆生活をお
ず中心の欄を主として」
で、中心に強調のめづら
役員出ているのは、會
役員は富留理夫氏した
その後、旅について西本
長よりも断がたし、「二時
た。

大会準備部 開催する
執行部議長

去春五月十日（月）年
より、本部事務員にて第
全国大第三十三回博覧會
回執行部議長と開陳た。
大倉製糖は、プロパゲ
の後援案とし、プロパゲ
の役及び大勢連に、
語含ひ、大倉準備部長最

大倉格、選管委員会開
大倉格、選管委員会は五
連休の都合により参府の到
り遅れたが、午前時
沢谷繁山正、兩院議員
開會され、長寿閣下
部を政務検査委員は選
参院代議士の爲を承認し
六十三名代表者として
引き続大金黨委員会
九月より一隔の間おて
られた。

三松敏吉（北九州郵報）
當員は選出、大倉格
いて、参加がないの時
底、食事を回らるる
承して他は原案通り申

實はスツツの下で重傷
 され、更に、事務局長は
 中務部長、厚生部長に
 けがられたいと思つたた
 智勝理事長、常務局長は
 朝日新聞、新聞の結末
 が動いた、非常の結末
 けがら運動、新聞開閉
 三日
 少
 解并
 寛受
 百
 定じ
 午前
 機を
 運を
 にお
 の微
 等そ
 た。

展開 川広 尾形 コンビ なり意 づれて ぬた若 隠し しか によつ 過 ば、 期待 も種々 密に 幸い地 各組 織の連 だた 全体 和尚

志百六十十名が渾け渾けのものとす結果、開選となす
 第十回全国大会は、開選に懸れたる三月、四月、五月の
 三回間に、資格審査委員会、運営委員会、第四回幹事会
 祭、体育祭、開会式、記念パレード、職友の昼食を閉じし
 今大会において、友誼論の座談会、万国博世界少年の歌祭
 らんと、長田正太郎新事務局長就任式より、若きを軸とし
 て展開されることと明瞭得される。

第十回全国大会は三月、四月、五月の三回間に、資格審査委員会、運営委員会、第四回幹事会、祭、体育祭、開会式、記念パレード、職友の昼食を閉じし
 今大会において、友誼論の座談会、万国博世界少年の歌祭
 らんと、長田正太郎新事務局長就任式より、若きを軸とし
 て展開されることと明瞭得される。

ウィークのしかもち振りの五月
 三十四日の連休とおぼれた
 一編の旅行記を、峠井沢まで
 非常な驚きで送り、たが、同志
 は万難を隔て、峠井沢へ、結果し
 こののちの情熱をそのまゝ本
 会のこれらの活動に振りそす

のよつに、全国大会の討議が次第
 七議題は、部修正、上程した
 に交連は、本大会上、上程した
 承認さ本年秋、激動的な活動
 えた、本年は、このよつに愛媛運動

五月三日午後、四時より、山莊にて
 月において、永田成幹事の司
 会のもとに開催され、田中幸
 幹事の指揮、若き世代が、奮
 力、奥徳、嶺が明瞭され、大会
 委員長尾形厚矩幹事等より挨拶が
 あり、世の激しい進歩の勢
 あり、先づこの進歩の本中に
 あり、このよつに愛媛運動

○ 開会式

日間、友愛救済会がその地として
組織せし二部員、可決した大
七組、組織せる計等々の内
年運動して三体的の前を
体系に進め、友愛の諸商會
よる國内的高麗開(一)に來
の万博におられる本がた
に推して進出する世情
年終りぬ。この本は、この
不向、地盤な動揺は望みの
下へおいてすばい果
生みだつてがで。
自問も、友愛運動にむか
るべきものと同様の、こ
い呼ぶことができた。こ
外、来て、奥田部長は

[illegible]

謝田安人、日吉書院（常盤）
 東條麻呂氏では、リッダ
 なるの月報誌を、を四月
 五廿かを刊行した。

月刊誌「青年」発刊

でリーダー養成会を開催して、グループ、サクティブの助けて、メンバー必読書「成功の習慣」を配り、その後の活動に期待を込めて、来年がスタートする。

月刊「発刊

[illegible][illegible]

を中心とした事業
員改選
熱心な議論で、海外派遣希望者
の承認に一致し、世
年次交流会主催の派遣対
トリス（三）名、その他の応募
者、推薦するところ
の年（に）については、統一
日曜が、四月二十四日
賛否が明確に推薦した
す
す
す

の神曲の編輯が巧んである
に、友へも種々論議を請ひ
てゐる。又變化し讀解を難
くして、青年學者の取組む
體裁の体的取組む
目録が述べられてゐる。
あつては却ちその指を
いしめてゐる。二にかか
れたの本部の所収の比較
である。

◆●●の事も指し示さ
れたい意図をステータ
スに、續いて茶屋に於
けられ、
山村望三の四名號、
新に江戸遊、高橋
本成、健甕天、三浦

本大、全、国博、愛会、々と、織に、って、てこ、いか、新、切ら、中川、三碧、を退、二、渡部、充

新事務呂

理論・講演・万博

所行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽 1-7-1
電話 東京 (941) 2801
編集兼発行人 青藤 実
定価 1部 10円

綱領 綱領は、憲法にのぞく
 国の政治の根本を規定するもの
 である。その制定は、主権者たる
 国民の権利を保障し、国家の
 政治の運営を指導するもの
 である。その制定は、主権者
 たる国民の権利を保障し、
 国家の政治の運営を指導する
 ものである。

青年黨に谷精磨出行
 万石世界少年化祭委員長
 念はてしなく、事務所中
 青年の団は緑線内に置か
 れた有十百り本倉庫に部
 達が常任幹事の出行が決定
 した、團長の今後の運に期待す
 るのみ。

頃、國交弛緩を以て、
 シシ、望望と西國にいひ、等々々々
 寛がては、中も安閑
 がたは、國を分すより
 断は許しなれど、三々三々
 に特別寛大な態度を以て
 とで寛大の致るを
 以上より充分を重んじ
 全一致をもて譲るを承服す
 云々

この後幾時務委員会が、
 長田久岡密鑒、船橋幸次、
 選挙権が免れ、別記の
 四所附、高橋恒三、
 星備夫、三浦瀧、渡部雄の
 一、永田清

祝
電

祝電

リヒルト・ウエーボ
カルク伯爵、本委員會會長、
「アムステルダム」新聞主筆、
長門島之助、本委員會議員、
議事議員、地崎三郎、本委員
長、衆議院議長、

衆議院議長、坂城素雄、石
英、市川虎一、福澤義興、
宇都宮德高、江崎寛藏、小
太田武一、小淵忠、小泉純
也、新役員代表及長老等、

婦科部長長方、明日、向

小次婦、小瀧妻、佐藤文次
四女久貞、島村、郎、道雄二
世故婦、永田辰、田來
田角榮、田永一郎、田弘弘
探電太郎、野田一、八田
早雄、福田忠天、橋本義泰
岡田、村長、村山三、村
山三喜、米田支
三、米田支
徳田与郎(衆市郎、石
(則孝親殿)山添芳(一
新幫の足利有、眞頭上
本の城の義殿新志方

泉(議員) 田中謙(憲法
 部長 安彦虎(議員秘書 藤
 田 友壽(少佐) 五十嵐富
 参事(中政房) 日本一
 義三(少佐) 深見野助(少
 増比呂記(少年) 日本一
 田 栗田(日本三連勝)
 イヌノ(日本連日日本
 久松謙(中央青年団連任
 議員 柴崎 昶(所短短 南
 本(本常任事務) 小白明男
 議員 長崎 長崎(少選
 光部、前警部
 桂 上級秘書
 馬 上級秘書
 田中謙(憲法)

社、大陸の各会社、酒
修会、資格審査委員の担当
員、5月初に、事務局の
5月10日、事務員との
会の結成による御会
が若く、改訂する
た。③、結成は単に
議された。④、結成
そのため、開大室で四
で継続した。大倉後よ
審議する場合、新設に
日検討するでして、な
アジヤ留学生と、連
れ派遣しては、位置
を通知した。以上諸
て慎重に審議し、第十回
会の盛會、編題、万邦期

◆新緑の月
で天地が驚か
しよはたけ
にはの連
井にて、第
金大発開
ぼ浮き上
つも、本年
向來を求めあつた大合会
した金開赤のほや、暖
マ・リッパと金開太を
あり、感を述べたにわれ

◆運動の進んだことは、
す直儀の足が疲れてゐる
の自前が痛む、現状

遅休 混雑。本 くに騒 六回 した 気持 の方 参集 の面 ると るが 時で 必ち 具体 正し

理論・講演・万博の三つの柱

新事務局長に長田君選出

婦人会役員改選

親睦を中心とした事業

訓直

◆新緑の五月、連休で各地では常に混雑したようである。本会ではこの連休に軽井沢にて、第十六回全国大会を開催した。浮き浮きとした気持ち、本手裏の方

A black and white advertisement for 'STONE'. The main visual is a large, textured stone block, possibly a piece of concrete or a natural stone, shown in a three-quarter view. In the upper right corner, there is a banner that reads 'FOR SPEED FACIL-10'. Above the banner is a small logo featuring a checkered flag and the word 'STONE' in a stylized font. The background is a dark, textured surface, possibly a road or a wall.

